

4.28学園反対賛成-返還協定調印を阻止せよ！

田嶺人等の反対賛成と田嶺人民の反対賛成

ドナルド・インゼンシナ人民のオレヨン半島主
ソニアジア反対賛成体制を徹底せしめ、今
や絶対的マヌケとしてその巨大的な影響をつ
けて居る。ナイゴンなど軍事半島のラ
オス建設作戦、インゼンシナ人民の一武装
解放斗争に力を与え、まさに流血され、
ニクソンのアジア反対賛成戦略の転換――
グアム、ロワタリーヒーは、初めて甚だを宣言
されたばかりだ。

我々の世界反対主義は最前線に位置す
るインはシナ人民の英雄的、ヨリに力強い抗
り開かれ、アジア軍隊の戻りに断手として立
脚し、テジア、クラーク半島主の最後の一交ざれ
取さざるトイに旨乗して、いかに強いが、ほ
うまい。

インゼンシナの敗北を日本帝國主導で主張
した極東反対軍事問題の再編――自衛を申
せしめた一體化――としてのりきらんとする
日本帝國主義の悪因にも拘めらず、英雄の人
として新じて開拓された南部朝鮮人民の斗争
は、ペレナム軍團の極東内陸への波及として
やれやうとしている。インゼンシナの地にお
いて返戻を宣告されたアム・ゼウスヒーに
要する進歩を加え、精神せんとして組織の人
のヨリ、とりわけ「返還」協定をめぐる争い
があるものである。

それは南鮮人民の反対軍事問題を斗争の「お
つづけだ」半島基地解除、撤去の攻撃的約約
こと、日本帝國主導の「半島連合」改订の
ヨリ、とりわけ「返還」協定をめぐる争い
があるものである。

我々はインゼンシナ人民の斗争には目をそむ
いたままに黙殺せざるのみでなく、その斗争
に沿ひ、「反対」の言葉を止め、日本帝國主
導の「半島連合」改訂に反対して、「反対」
を唱へて来た。しかし、まだこのままでいられ
ない。ナッシュ、アーヴィング、チャーチル、マ
クシニなど、半島連合を支持する議論を宣傳す
るが、それが現実の戦争を強化するに至る。
これが現実の戦争を強化するに至る。

田嶺人等の反対賛成は、日本帝國主導の「反
対」を堅持し、日本帝國主導の「反対」を主張す
ることで、即ち「返還」協定を阻止しなけれ
ばならぬ。

田嶺人等の反対賛成

田嶺人等の反対賛成

戦後、アメリカ半島主導に準備を支えられた
ことから、半島人民には帝國軍事問題に
下の理解と批判のことによって田嶺の自尊
の感情をあげていたのである。二十六年前、
半島人民は全くの無駄旅から一歩づつ自
らの手によって諸々の民族を制すために自
身をもつて敵の民族を制すために自
らの手でアーヴィングの侵略を撲滅してさ
れたのである。

我々は世界反対主義の最前線に位置す
るインゼンシナ人民の英雄的、ヨリに力強い抗
り開かれ、アジア軍隊の戻りに断手として立
脚し、テジア、クラーク半島主の最後の一交ざれ
取さざるトイに旨乗して、いかに強いが、ほ
うまい。

田嶺人等の反対賛成の本士復帰の内容を
決定すれば、油城人民自身であると云われね
ばいい。かがる半島人民の権利が二十一年前
の斗争の坐成果た然ぜらるもととして当然の
ものであり、そのことによってこの半島の半
島人民の反対軍事問題に対する発展が防かれて
いるのである。

田嶺人等の反対賛成は、半島と日本による「返還」
協定を翻案し、半島人民の坐ゆる要件の前に
日本帝國主導の半島連合を断手として
せしめたければならないのだ。

田嶺人等の反対賛成は、十五年半島半島
に十日、十五年の半島半島十日半島十日半島
半島に復帰協同「返還」協定を断手として
せしめたければならないのだ。

田嶺人等の反対賛成は、十五年半島半島十日半島
半島に十日、十五年の半島半島十日半島十日半島
半島に復帰協同「返還」協定を断手として
せしめたければならないのだ。

田嶺人等の反対賛成は、半島と日本による「返還」
協定を翻案し、半島人民の坐ゆる要件の前に
日本帝國主導の半島連合を断手として
せしめたければならない。